

# News Release



©1976,2018 SANRIO CO.,LTD. APPROVAL NO.G581094

2018年7月25日

— たましん中小企業景況調査報告 Vol.173 —

## 好調感を維持

不動産業が好調感を強め、卸売業は好調感をやや弱める。

多摩信用金庫（本店:東京都立川市 理事長:八木敏郎）は、取引先中小企業の景況動向について、四半期ごとに調査を実施しております。今般、2018年6月上旬に行った第173回中小企業景況調査の結果を『多摩けいざい』第85号にて公表しました。

なお、『多摩けいざい』は当金庫各営業店の店頭で配布しているほか、地域経済研究所ホームページ (<https://www.web-tamashin.jp/rire/>) からもご覧いただけます。

### 今回の調査について

1. 調査時期 2018年6月上旬（毎四半期実施）
2. 調査内容 2018年1月～3月と比較した2018年4月～6月の実績と、2018年4月～6月と比較した2018年7月～9月の見通し
3. 調査方法 調査員による聞き取り調査
4. 調査対象先数 当金庫のお取引先 1,219 先
5. 回答先数 1,201 先
6. 回答率 99%
7. 回答先内訳 下表のとおり

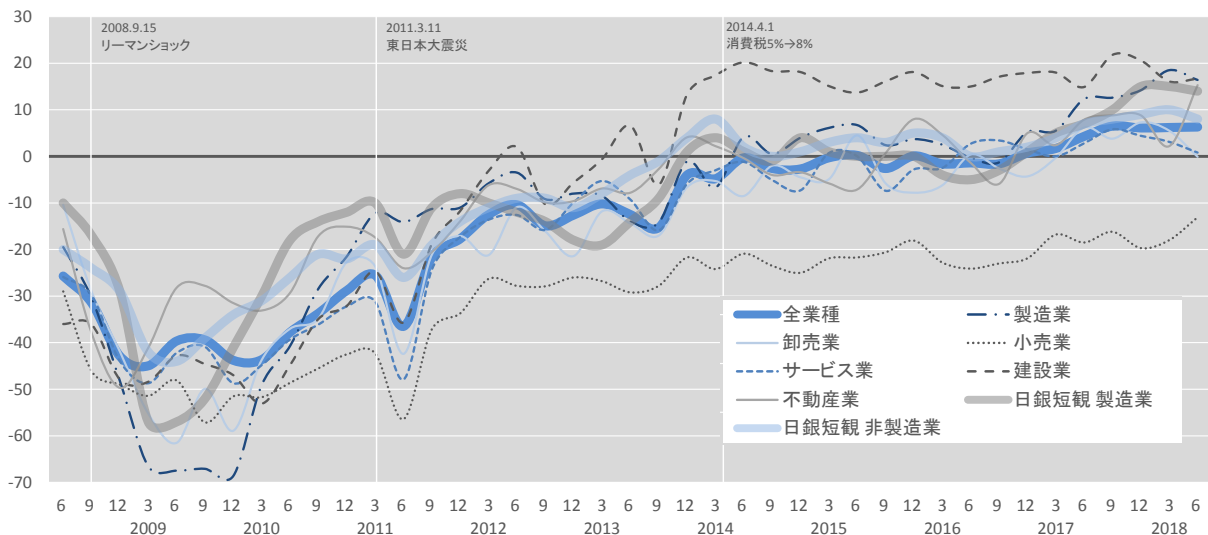
従業者規模	全業種		製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率
1～4人	384	32%	65	19%	27	26%	111	55%	86	31%	49	26%	46	52%
5～9人	260	22%	63	19%	29	28%	40	20%	46	17%	57	30%	25	28%
10～19人	205	17%	77	23%	24	24%	16	8%	29	10%	48	25%	11	12%
20～29人	104	9%	45	13%	8	8%	9	4%	27	10%	12	6%	3	3%
30～39人	59	5%	26	8%	2	2%	5	2%	18	6%	8	4%	0	0%
40～49人	43	4%	18	5%	0	0%	8	4%	8	3%	7	4%	2	2%
50～99人	90	7%	28	8%	7	7%	14	7%	33	12%	7	4%	1	1%
100～	56	5%	17	5%	5	5%	0	0%	30	11%	3	2%	1	1%
合計	1,201	100%	339	100%	102	100%	203	100%	277	100%	191	100%	89	100%

## 今期景況調査結果の概略

### <業況概況>

- 今期、全業種の業況判断 DI は、前期より横ばいの 6 となりました。来期は 4 ポイント増の 10 と、やや好調感を強める見通しです。
- 規模別に見ると、中規模企業では 1 ポイント増の 16 と、前期よりほぼ横ばいで好調を維持しています。小規模企業では、前期と同じく▲2 となりました。来期は、中規模企業では 3 ポイント増の 19、小規模企業でも 3 ポイント増の 1 となる見通しです。
- 業種別の業況判断 DI では、不動産業が 13 ポイント増の 15 と、好調感を強めたほか、小売業が 5 ポイント増の▲13 と、やや不振感を弱めました。一方、卸売業が 6 ポイント減の 0、製造業が 3 ポイント減の 16 と、少し好調感を弱めました。その他の業種は、前期よりほぼ横ばいとなっています。来期は、小売業を除く業種で好調感を強める見通しです。

		2018.3	2018.6	変化幅	2018.9 (見通し)	変化幅
全業種	中規模企業	15	16	+1	19	+3
	小規模企業	-2	-2	0	1	+3
	計	6	6	0	10	+4
製造業	中規模企業	26	31	+5	38	+7
	小規模企業	14	6	-8	12	+6
	計	19	16	-3	23	+7
卸売業	中規模企業	15	3	-12	12	+9
	小規模企業	-18	-10	+8	0	+10
	計	6	0	-6	9	+9
小売業	中規模企業	-3	1	+4	-3	-4
	小規模企業	-31	-25	+6	-26	-1
	計	-18	-13	+5	-16	-3
サービス業	中規模企業	13	10	-3	13	+3
	小規模企業	-19	-20	-1	-17	+3
	計	3	1	-2	4	+3
建設業	中規模企業	42	43	+1	46	+3
	小規模企業	10	10	0	13	+3
	計	16	17	+1	20	+3
不動産業	中規模企業	10	17	+7	25	+8
	小規模企業	-4	14	+18	12	-2
	計	2	15	+13	18	+3



## <業種別の業況・売上高・収益>

**製造業** 製造業の今期の**業況**は3ポイント減の16と、わずかに好調感を弱めました。来期は7ポイント増の23と、やや好調感を強める見通しです。**売上額**は前期と変わらず横ばいに推移し、来期は25と、わずかに増加傾向を強める見通しです。**収益**は3ポイント減の14と、若干増加傾向を弱めました。

**卸売業** 卸売業の今期の**業況**は6ポイント減の0と、やや好調感を弱めました。来期は9ポイント増の9と、好調感を強める見通しです。**売上額**は1ポイント増の6と、ほぼ前期並みに推移しました。来期は5ポイント増の11となる見通しです。**収益**は7ポイント減の3と、少し増加傾向を弱めましたが、来期は2ポイント増の5となる見通しです。

**小売業** 小売業の今期の**業況**は5ポイント増の▲13と、やや不振感を弱めました。来期は3ポイント減の▲16となる見通しです。**売上額**は3ポイント増の▲8と、わずかに減少傾向を弱め、来期もさらに4ポイント増の▲4となる見通しです。**収益**は3ポイント増の▲10となり、来期は5ポイント増の▲5と、少し減少傾向を弱める見通しです。

**サービス業** サービス業の今期の**業況**は2ポイント減の1と、ほぼ横ばいの好調感でした。来期は3ポイント増の4となる見通しです。**売上額**は2ポイント減の4と、ほぼ前期並みの増加傾向でした。来期は4ポイント増となる見通しです。**収益**は5ポイント減の▲1と、減少傾向に転じました。来期は、3ポイント増の2と、再び増加傾向となる見通しです。

**建設業** 建設業の今期の**業況**は1ポイント増の17と、ほぼ前期並みの好調感でした。来期は3ポイント増の20となる見通しです。**施工高**は3期連続の14となり、来期は1ポイント減の13と、同様の増加傾向が続く見通しです。**収益**は2ポイント増の9と、ほぼ横ばいの増加傾向で推移し、来期は2ポイント減の7となる見通しです。

**不動産業** 不動産業の今期の**業況**は13ポイント増の15と、好調感を強めました。来期は3ポイント増の18と、ほぼ横ばいの好調感が続く見通しです。**売上額**は2ポイント増の14と、ほぼ前期並みの増加傾向で、来期は1ポイント減の13となる見通しです。**収益**は9ポイント増の15と、増加傾向を強めました。来期は1ポイント減となる見通しです。

以上